

らないと強く感じました。

また実際の現場で、病院の業務（カンファレンス・外来・回診・手術etc…）について勉強することで、自分がこれまであまり興味のなかった科に対して、新しい興味がわいてくることもあります。また、先生方の後ろ姿を見ながら実習を行うことで、将来の自分をイメージし、患者さんにとってよい医師とは何かを考える機会にもなりました。

このように日々充実したポリクリ生活を送っている私たちですが、来年は国家試験が待ち受けています。先日マッチングの結果が発表され、6年次の先輩方のラストスパートをかけ始めた姿をみると、来年は自分たちの番だという緊張感が高まります。5年次でも、国対委員が中心となって外部講師を招いたり、6年次の先輩方によるマッチング講演会を行ったりと、学年全体で国試への雰囲気盛り上げていっています。

まだまだこれからもポリクリ生活は続きますが、現場で得たものを大切にしつつ、国試への対策も進めていきたいと思う、5年次の秋でした。

4年生の近況報告

毛利 康 一（4年次）

松井選手、ワールドシリーズMVPおめでとうございます。同窓会の紙面を少しだけお借りして、僕の思いを、感動とリスペクトを伝えさせてもらいました。

どうも、松井選手の大ファンの医学科4年次毛利です。今日は松井選手への熱い思いを綴らせていただきます。

僕と松井選手との出会いは、甲子園で5打席連続敬遠をテレビで見たときから。それから、巨人に入団し大活躍。2003年、ニューヨーク・ヤンキースに入団して、度重なる故障を乗り越えて、先日ワールドシリーズでMVP受賞をしたことは記憶に新しいかと思います。

なぜそんなに尊敬しているのか。それは松井選手の品格にあります。あふれる才能を持っているにもかかわらず、個人の記録について一切口にしたことはありません。全てはチームの勝利のため。また、松井選手は中2の時から人前で悪口を言った

ことがないそうです。

そして、この松井選手の謙虚な生き方こそが、医療人の理想とつながるからこそ敢えて書かせてもらいました。今年7月、離島・へき地実習で、僕は県立北部病院で実習させていただきました。実習内容は主に看護師さんの仕事を手伝うというものでした。看護師さんのきめ細かい気配りに脱帽し、チーム医療とは何かということを考えさせられたのですが、そこでの、ある看護師さんから衝撃的な一言。

「あんたたち、今は謙虚でいいけど、10年後は医者99%が態度でかくなるのよね」

医者ってそういうものなのかと。松井選手を見習って謙虚に生きたいものです。



学士編入から半年経って

黒崎 滋 之（3年次）

医学科同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。3年次の黒崎滋之と申します。ここ、沖縄もようやく秋に入りました。半年前に梅雨の湿気対策のために購入した除湿器は相変わらず稼働していますが、夏の、あの肌を刺すような暑さもなくなり、随分と過ごしやすくなりました。

今年の夏は沖縄の台風を初めて経験することもできました。沖縄の台風は「風台風」と聞いていましたが、「雨は降って当たり前、それより風が心配だ」という感覚であるが故の「風台風」なのではないでしょうか。小雨の時は大した雨ではないために傘をささず、大雨の日は傘が役に立たないために傘をささない。そんな街行く人々を見てみると、そ